

2. 子どもにやさしいまちへ

子どもを真ん中に、子どもと子育て家庭に優しいまち・子育て先進区の実現を進めます。

1) 子ども・子育て家庭に対するセーフティネットの強化 (推進PRJ1)

子どもの権利の普及啓発 子どもの権利の日フォーラム開催、子どもの意見表明手引きの作成、世界子ども未来会議 in NSKANOも開催される	子ども相談室の愛称「ボカコロ」キャラクター「だんごーず」、オンブズマンの方は児童館やプレーパークにも出張。意見表明の手引きはすばらしい内容です。	H	○	10	10	←注目!
育児不安解消へ、「妊娠～子育て期への切れ目ない支援」を充実させる。 (・こんにちは赤ちゃん学級、カンガルー面接、オンライン両親学級。妊婦さんクラス、プレパパ講座、父業のスズメ、マタニティケアクラス、妊婦さんの歯つばいお食事講座、産前家事支援事業。・こんにちは赤ちゃん訪問、ファーストバースデーサポート事業、お催事の赤ちゃん集合、赤ちゃんがきたBP1プログラム、きょうだいができたBP2プログラム。受けるカムママコース1・2、離乳食講習会、産後家事育児支援。産後ケアショートステイ(宿泊)、デイケア(日帰り)、アウトリーチ(助産師訪問)。・子育て応援メール、子育て支援ハンドブック「おひるね」発行、一時保育、病児・病後児一時保育、休日保育、年末保育、ベビーシッター利用料の一部負担、ファミリーサポート事業、子どもショートステイ。・3歳児未満の多胎児家庭へ移動経費の助成や、家事育児のお手伝い、多胎児家庭の交流会など「多胎児家庭支援事業」)。・R8～出産後間もない時期の産婦・乳幼児に対し、新たに健康診査を実施する。R8～5歳児健康診査を試行的に実施する。・R8～家事育児支援事業を妊娠中の方も対象に	切れ目ない支援は、本当に充実してきました。こんなに色々ある!R8～実施されるものもあります。子育て支援ハンドブック「おひるね」の再発行はタウンミーティングでの要望に答えています。区のHPも「おひるね」として子育て支援施策が掲載されていて探しやすいです。	H	○	10	10	←注目!
育児不安解消へ、相談支援を充実させる 外国人相談支援の通訳導入、妊婦検診の公費負担拡充、ひとり親相談員設置、リトルベビーハンドブック R8～医療的ケア児とその家族への相談支援体制を強化するため、SNS相談窓口の開設	相談支援も充実してきました。外国人相談支援は特に大事です。	M	○	5	5	←注目!
・学校に通いづらい児童・生徒の居場所:①校内別室、②中野中チャレンジクラス、③教育支援室、・子ども・若者支援センター若者相談事業。児童館においてソーシャルワーク機能(地域の見守り・ネットワーク・相談支援)を強化。 フリーステップルームが設置され、様々な取組が実施されています。	学校に通いづらい児童・生徒の居場所づくりは大事な施策です。中野北部にも欲しいという声が寄せられています。	H	○	10	10	←注目!
要支援家庭の早期発見、早期対応 相談援助業務モバイルシステム導入、里親インターンシップ事業・里親ピアサポート事業、里親養育包括支援、コミュニティソーシャルワーク機能・体制の整備	里親事業は、里親の担い手の発掘や育成がカギですが、サポート事業が包括的に具体化されています。コミュニティソーシャルワーク機能も大事な施策で、社協が実際に取り組みを開始しています。	M	○	5	5	
子どもの経験・体験事業の実施 ・なかの里・まち連携自治体と連携した体験事業を実施 ・子ども育成文化・芸術事業。中野区の体験事業に経済的に困難を抱える家庭の子への優先枠を設定。	体験する機会を経済的に困難を抱える家庭の子にも設けていくことは大事な施策だと評価します	M	○	5	5	
食事の確保などの生活支援の充実 ・ひとり親支援事業(ひとり親家庭相談、児童手当、ひとり親家庭医療費助成、就労相談、自立支援教育訓練給付)、 ・実質ひとり親支援事業(離婚調停または離婚訴訟(裁判)中の実質ひとり親家庭に対し、区独自の給付金(対象児童1人につき10万円)) ・養育費確保支援事業(養育費に関する公正証書等作成費用を補助) ・長期休業中の食糧配布を開始 生活に困難を抱える子育て世帯へR8から試行	ひとり親支援だけでなく、実質ひとり親支援も強化されてきました。夏休みなどの食糧配布も始まります。養育費確保支援は、区が代替えるところまで踏みこむとさらにいいです。	M	○	5	5	←注目!
子どもの立場に寄り添った相談体制 ・スクールソーシャルワーカー(福祉専門職)10名。 ・スクールカウンセラー(不登校やいじめ、児童虐待等の未然防止・早期発見等、児童・生徒の悩みを抱えている問題の解決に向けて、子どもの心理に関する支援)各校配置、都と区独自の両方 ・心の相談員も週2日配置	スクールソーシャルワーカー(福祉職)、スクールカウンセラー(心理職)、心の相談員(話し相手・相談相手)が配置されています。悩みを抱える親子がタイミング良く相談できるようなアテンド機能が今後大事だと考えます。	M	○	5	5	←注目!
小中学校給食費の無償化、私立小中学校も含めて実施	実施が遅れましたが、私立の子も対象になったことは大事な点です。	H	○	10	10	
教材費・修学旅行費・校外学習費・移動教室費に係る費用の補助の実施 区立小中学校対象	給食費無償化で止まらず、先へ進んだことは大事なことです。	M	○	5	5	←注目!
給付型奨学金事業募集開始 R9～給付開始	給付型奨学金も始まります!	M	○	5	5	←注目!

2) 子ども食堂支援

・子ども食堂支援事業、(1団体年間40万円、新規団体へ+10万円の助成)。小学校区ごとの子ども食堂の立ち上げ支援。	企業からの寄付が減っています、この施策は重要性を増しています。	H	○	10	10	
---	---------------------------------	---	---	----	----	--

3) 地域全体で子育てを応援するための体制整備

多様な居場所づくり キッズプラザ鷺の杜開設、25(仮)南台開設、24鷺の杜学童クラブ開設、25(仮)南台学童クラブ開設、24塔山・谷戸小学校区に民設民営学童クラブ増設 23-小学校施設を活用した放課後居場所事業の拡充 23-学校図書館の夏季休業期間中等の開放 中高生の居場所を旧教育センター分室へ開設	放課後子ども教室事業において、区内団体の自主的活動がエントリーできるのは23区で3区しかありません。夏休みの学校図書館開放も嬉しい施策です。念願の中高生の居場所もできます!	M	○	5	5	←注目!
朝の子どもの居場所づくり R8～学校における早朝見守り事業を実施する。また、学校休業日については、区立学童クラブの預かり時間の延長を実施する。	朝の子どもの居場所もできます!	M	○	5	5	←注目!

子どもにも魅力ある公園の整備 ワークショップやオープンハウスで意見を聞きながら整備計画をまとめている。大和、上鷲東、南台、丸山塚、中央・中央西の順に進行中。公園ルールの見直し 23-やわらかいボール使用や自転車の練習がOKになった	大和公園ではワークショップで自由に意見が出せ、設置された複合遊具や遊べる噴水が大好評です。樹木の強剪定が残念です。ルールはもう少し柔軟にしてほしいです。	M	●	5	3.5
中高生の意見を区政に反映 ・ハイティーン会議（中学生）→ティーンズ会議（小4～）を区政への提言の場として運営 ・若宮児童館の整備において中高生の意見をふまえて基本構想が作成された	ティーンズ会議での区政への提言も活発です。発表会日程を予算編成に間に合うように前倒ししたことは大きなことです。	M	○	5	5 ←注目！
学校運営協議会・地域学校協働本部の設置 段階的設置を経てR7～全校に設置された	コミュニティスクールの全校設置は評価できます。が、まだ担い手が固定化されており、不高校の親など当事者の参加も、公募参加もなく、地域に開かれた形にはなっていません。	M	△	5	2.5
子どもの読書活動の推進 23-区立図書館のアウトリーチ事業の充実による来館促進 25年度中学生による図書館活性化プロジェクトの実施 23ブックスタート事業の実施 23区立図書館蔵書・貸出充実事業の実施、学校図書館蔵書の刷新	ブックスタートは中野区は遅れていたがやっと実施されました。学校図書館蔵書予算も23区で下位だったのが中位に上がりました。	M	○	5	5
24-地区懇談会による、子どもと家庭に関わる地域の課題解決に向けた取組と地域との連携の充実	明和中校区の取組は「子どもの権利」「やさしい日本語」など、すばらしいです。他地域の状況を知りたいです。	M	○	5	5
子育て関連団体に対する支援とネットワークの構築 政策助成制度が見直しされた。乳幼児親子の居場所づくりや一時預かり実施団体への乳幼児親子支援活動助成金事業による活動支援が実施された。こそだてひろばは、8カ所+各児童館で実施されている。	支援事業は拡充されてきました。区民活動センターによるネットワークづくりはまだ見えてきません。	M	●	5	3.5
若者が活躍できる交流や活動の機会の充実 24-若者会議の発表会の日程が予算編成に間に合うように前倒しされた。 24若者会議として5つの提言が行われた。地域とつながる機会を得にくい若者のために、若者会議がハブになっていくという趣旨。 23-チャレンジ基金助成制度が実施された。	若者会議が若者会議の在り方を話しあって、5つの提言をしたことは大事です。今後の活動や提言に期待したいです。	M	○	5	5
4) プレーパーク活動支援					
常設プレーパークの開設 地域プレーパーク補助事業の新設 移動型プレーパーク補助事業の新設 普及啓発事業、担い手育成事業	常設プレーパークが開設し、プレーパーク支援事業もR8～新設されました！プレーパーク界隈では中野区が注目されています！	H	○	10	10 ←注目！
5) 新しい機能を持った児童館整備					
24-児童館運営・整備推進計画が策定され、25-段階的な実施が始まる 23-ふらっとサンデーが開始された	児童館が3つに区分けされ、整備が進んでいます。拠点型には数名職員が配置され、子どもたちも喜んでいきます。専門性をもった職員の育成が今後の課題です。	H	○	10	10 ←注目！
6) 学校教育の充実（教育委員会の課題ですが...）					
特色ある学校づくりの実施 「子どもの意見を反映させた教育活動」として生徒が使い道を決める予算を各小学校20万円・各中学校30万円割り当てた。修学旅行や移動教室の行先にも子どもの意見が反映されることになった。	「子どもの意見を反映させた教育活動」はすばらしいです。明和中の取組に感動しました。	H	○	10	10 ←注目！
校則の見直しを取り組まれ始めました	まだ端緒的ですが大事な一歩です	L	○	3	3
児童の主体性を重視して、運動会をスポーツフェスティバルに変更し、企画運営に児童の主体性をいかしていく小学校がでてきています。	大事な一歩です	L	○	3	3
校外学習でプレーパーク体験を取り入れた小学校も出てきました。	大事な一歩です	L	○	3	3
7) 学習支援事業の拡充					
学習支援事業の対象拡大（中学生から小学4年生まで、児童扶養手当受給世帯・ひとり親世帯を対象に追加、さらに高校生まで拡大）、高校生年代を対象とした支援事業（医療費助成）の実施	大事な施策です。学習支援はR8から高校生まで拡大されます！	H	○	10	10 ←注目！
8) 子ども施設の誘致					
中野駅北口再整備で雨天および屋外の子どもの遊び場を誘致する。中野駅北口再開発はいったん白紙になった。南口の新築高層ビル内に「こどもでばーと中野（学習塾、体操、チア、キッズキャンプ）」を誘致した。	北口再開発のコンセプトには位置づけされているが、仕切り直しになっています。その理由として遊び場の誘致が不十分という根拠があったということは評価したいです。	H	●	10	7

2. 子どもにやさしいまちへ	合計	29	229	221	96.3%
-----------------------	----	----	-----	-----	-------